

7/13・14 開催 タウンミーティング質疑

① 水道局 7月13日 10:00～11:30 参加人数40人

1 小中併設校建設について

質疑応答なし

2 市民総合体育館の建替えについて

①市民

体育館建設事業は、公園整備との一体化事業と聞いていますが、公園には不審者も出ています。子供たちが危険な目にあわない様な対策は検討していますか。

市

夕方以降、運動公園を使用している方が少なく、確かに安全上の不安があります。特に、茂みや見通しの悪い箇所など、危険な箇所について検討していきたいと考えます。

②市民

現在、あれだけ多くの利用者があり、現状を理解している方が多いはずなのに、なぜ反対者がいるのでしょうか。

市

体育館の建設に反対しているというより、小中併設校建設事業と一緒にすることについて流山市の財政上大丈夫なのか、時期をずらした方がいいのではないだろうか、ということだと考えています。しかし、補助金の獲得のためには、社会資本整備総合交付金という制度上、「親」を体育館の建設費、「子供」を小中併設校の用地費として、「セット」で実施することが必要です。

今、議会に特別委員会が立ち上がって話し合いをしており、今のところ、12月の議会で事業者を選考する予定です。少なくとも平成24年度緊急経済対策で交付された国からの交付金は、『計画が遅れたので来年度に』という繰り越しができませんので、議会にも協力をいただいて、全力をあげて取り組んでまいります。引き続き、ご意見、ご要望をあげるなどご支援をよろしくお願いいたします。

③市民

新体育館を、今の陸上競技場の上に建てるということですが、現在の陸上競技場の利用率はどのくらいなのでしょう。競技場をつぶしてしまうことで影響はありませんか。

市

現在の陸上競技場の利用状況は、0.3%です。この競技場は、いわゆる多目的広場として作られたもので、公式記録をとれない設備ですし、雨が降ると水もはけない状況です。現在は陸上競技場としての目的が果たされていません。サッカーの練習で使われることがありますが、試合となると、他の競技場を借りている状況です。スポーツフィールドができましたし、現在利用している人たちの活動場所はしっかりと考えていきたいと思えます。

④市民

現在の体育館の跡地はどのように活用するのか。

市

跡地の一部は、現在の噴水の広場、駐車場と共に、新たに駐車場として整備する予定です。この他にも、普段は緑地として残し、大きなイベント時など、必要な際には駐車場として活用できるという機能の緑地も考えています。

⑤市民

アリーナやサブアリーナをつくと、大きな大会も増えて、利用希望者の予約がさらに取りにくくなります。結果として市民は使いづらいと感じてしまうのではないのでしょうか。

市

現在でも、大きな大会は年に10回程度となっていますので、たとえ増えてもそれほど予約がしづらい状況にはならないと考えています。

また、新たなアリーナ設備は、現在のような体育館全体の照明を「点ける」「点けない」のみの照明機能ではなく、卓球なら卓球の競技箇所と、その他の場所を分けて照明を使うというメリットがあります。

さらに、現在の体育館では入りきれない大会は、コミュニティプラザも使うなど複数会場で行っていました。しかし、これが1つの会場でできるというメリットもあります。

⑥市民

小中併設校や体育館の話は、これまでタウンミーティングなどを通じて色々してきたと思いますが、広報紙で、市長の議会に対する説明が不足していたと謝罪が載っていた。広報掲載の真意を教えてほしい。

市

小中併設校建設と市民総合体育館の建て替えという、やらざるを得ないものが2つ発生し、さらに国の補助金が大変多く交付される今のタイミングが良いと私も考えました。

しかし、平成25年度の予算を審議する3月議会において、予算は認めていただく一方で執行については保留すると決断をしなければ、平成25年度の予算が否決された可能性があります。否決されますと、社会資本整備総合交付金という制度上、すでに受け取っている小中併設校の用地取得のための国費を、国に返さなくてはいけない状況になります。何とか、議会との合意点を見つけるために、このような決断をとりました。

⑦市民

大変多くの投資をするのに、流山市の企業、商店にうるおいが行き届かないのが気になります。

市

まず、小中併設校建設については、立替施行といたしまして、URが整備した後、市はその費用を20年の割賦で買うことができますので、市が一度に多額の市債を発行する事はありません。

また、規模が大きいので、地元企業がメインで工事をとれるというわけでもありませんが、工事の一部にでも、流山市の企業が入れるようお願いしていきます。

体育館建替え事業は、できるだけ地元の企業のために、市が発注する形に変えました。しかし、40億の建物建設工事であるため、小さな企業が束になればできるというものでもありません。よって、この点を考えて依頼しなければいけません。しかし、お弁当や自動販売機など工事現場では相当の需要がありますので、小中併設校の建設事業とも合わせて、地元の企業が入れるように考えていきます。

### 3 その他

市民

おおたかの森駅周辺は、現在のところどのような計画がありますか。

市

おおたかの森駅北口にある市有地1ヘクタールは、シティホテル、500人程度の多目的小ホール、さらにおおたか出張所を大きくしたような市民サービス窓口を考えています。

しかし、地権者との協議や、URの土地区画整理の進み具合にもよりますので、具体的な時期はまだ申し上げられません。駅西口は交通広場として、バスを中心とした交通ターミナルを考えています。今のターミナルの3倍の広さを考えています。

市民

ここ(おおたかの森周辺)の住居表示(字名)変更がいつになるのか聞かせてください。

市

URは、新市街地地区の土地区画整理事業が今年度末で終了することを予定していましたが、そのタイミングでの住居表示(字名)変更を考えていたようですが、事業が終わりません。

今後、事業期間がいつまでになるのかが現在のところわかりませんが、私たちは事業の終了が3年程度伸びると考えています。しかし、いつ終了するか確定していないため、具体的な時期は申し上げられません。

#### ⑧市民

体育館にかかる予算のうち、消費税8%ではなく、現在の5%が適用されるよう(増税前の契約)にしてほしい。

市

5%の適用をするためには、時期的に9月中に契約しなければ間に合いません。今年の3月の議会で提案をしましたが、結果、協議をする場を設けることとなりました。この特別委員会の第1回開催が7月2日となってしまいました結果、5%には間に合いません。

#### ⑨市民

老人会連合会が、体育館に集まって行う大会があるようですが、会場までの交通手段として、臨時バスを出してもらいたい。

市

老人クラブ連合会への補助金は、事務局である社会福祉協議会で支出しています。補助金の使い道として、その中でこの交通手段の計画ができるのではないかと現時点では考えています。

市民

私達の自治会も、自治会館の用地をURと協議しているところです。URは25年度までに区画整理を完了させるとしていますが、いつになるのかわからない状況です。

市

現在、土地区画整理事業の終了は平成25年度末とされています。しかし、その後5年間の清算期間がありますので、その間に終了していただきたいと私たちは考えています。つまり、最初の建設工事が3年延びてしまうのであれば、その後の清算は残り2年でやってもらい、帳尻を合わせてもらうということです。

そして、実は閣議決定で、『ニュータウンは赤字が増えるので、平成25年度までしか政府は債務負担をしません』とされています。これにより、URの議論や決定の進み具合が悪くなっていると考えられます。

市民

流山市及びURの担当者が、地権者に対して訪問して、移転等の協議をしていると思うが、誠意が届いていないと感じている。市、URが担当者だけで行動するのではなく、もっと上役の人間が地権者とひざを交えて協議することが重要だと考えます。一度訪問してからは、その後文書だけのこともあると聞きました。

市

URに関わる訪問の内容ですが、地権者さんによっては、副市長も訪問して移転についての要請をしています。

補償内容について両者の間に相違があるようです。土地区画整理事業は、地権者の皆様の減歩で成り立っていますから、移転前と移転後であまりに差が出てしまうようなバランスの悪い支出はできません。

URの判断ではありますが、土地区画整理事業では、一定の期間を過ぎた後に、直接施行という強制力をもった方法もあります。皆さんからのお金を使っているものなので、今後も担当部長も含めて、私どもも積極的に訪問していきたいと考えています。

1 小中併設校建設について

市民

税金がかかっているのだから予算（事業費）や、施設（複合部分）用途なども、設計段階（の経緯）を含めて概要を説明してください。

市

学校の図面や（予算額などの）内容などは、広報ながれやまと市のHPに随時掲載しています。施設の配置及び平面図は、市の併設校のHPに7月4日から掲載しています。

市民

土地の坪単価はいくらですか。また学校関係の土地であれば公的機関（施設）ということもあり値下げの交渉は可能ではなかったのでしょうか。

市

用地交渉はURと22回行いました。交渉の結果、URとの妥結点は1平方メートル当り14万円でした。参考までに、その後にURが同じような条件で民間に分譲した（土地の）価格は1平方メートル当り33万円です。

市民

既存校も老朽化が見られ学校間に格差が生まれるのではないかと危惧します。市民に（今後の）見通しがわかるように、また、税金を使って行うのだから第三者委員会などで、市民にわかりやすく説明をしてください。

市

新しい学校と既存校との学校間の格差は、大きく分けて2つあると思います。1つは、校舎や施設の格差、もう1つは教育内容の格差が考えられます。校舎の格差は、新しいか古いかでいうと既存校も建設当時は周りの学校より新しい学校であった訳ですから、そういった観点では格差はないと考えます。

文部科学省によれば、全国の老朽化した学校を建て直すと38兆円かかると言われています。しかし、文部科学省では、学校の長寿命化として補修・改修することを考えています。流山市も20年に1回改修事業を行ってきましたが、時間もかかるため、既存校についても整備計画をたてていかなければならないと考えております。

教育内容の格差については、「小中一貫教育」を考えています。私立の（9年制）小中一貫校と混同される方がいますが、中学3年までに学ぶ内容を中学2年で終えて、残りは受験勉強に当てるといようなことは考えていません。なぜならば、この学校はどんどん児童・生徒数が増加していき途中からの転入や転出もあり、（9年制への）カリキュラムを変えることは難しいため、既存校と同じような（小学校6年、中学校3年の）カリキュラムで行っていく事を想定しています。

しかし、小中一貫教育で一番考えているのは中1ギャップの解消を行うことです。全国平均から見れば流山市はかなり少数ですが、不登校や長期欠席の児童・生徒が増えている傾向にあります。これはなぜかという、中学校は教科担任制をとっていて児童がそのような状況になっても細かに対応できないことが原因のひとつにあります。小・中の教員による相互乗り入れ型の授業交換を行うことにより児童の実態・実情がわかってスムーズな引継ぎができると思っています。

もう1つは、現在小中学校が23校ありますが、それぞれの小中学校間の内容も検討し、新しい取り組みも含め、教育内容を充実させていく事が重要です。ですから、併設校のみ規則を変えて教育に取り組んでいくのではなく、流山市全体の子供たちが学習についてレベルが上がっていくことを望んでいます。

市民

学校が立派であっても、教える教育者の水準が上がらないといけないのではないのでしょうか。教育者の水準を上げていくことについてどう考えているのですか。

市

まったくその通りです。全国には様々な規模・年代の校舎・施設があります。その中で最大の教育環境は教職員だと思います。教職員の指導力UPについての研修ももちろん力を入れて取り組んでいきます。

市民

後期基本計画に、大きな根幹の事業である併設校建設がなぜ盛り込まれていなかったのですか。

市

平成22年度からスタートしている後期基本計画には、小学校建設事業、中学校建設事業と個々に小学校・中学校を建設するとしています。その後、2つの小学校と1つの中学校の計画を統合して、併設校として1箇所建設するというに変更したものです。

市民

市債残高の総額を示してください。また、今後広報等にも数字の公表をしてください。

市

今後広報等でお知らせしていきたいと考えます。ちなみに、平成25年度の市債残高の総額は409億3千9百万円で、悪くなるピークである平成29年度は、451億5千3百万という推計をしています。これは人口推計が推計通り伸びているかということが大事です。毎年約2千人増える計画で見えていましたが、福島原発事故等の影響もあり、平成24年は1200～1300人の人口増に落ち込みました。しかし、現在1500人増まで回復していますので、当分は毎年2000人を越える人口増として、計画どおりに推移するのではないかと思います。

## 2 市民総合体育館の建替えについて

### ⑩市民

社会資本整備総合交付金は、平成24年度に執行していない分は返さないといけないのですか。また、いつまでに執行しないといけないのでしょうか。

市

平成24年度については、国で補正予算として平成24年度末（平成25年3月）に国会で決定されていますので、もともと平成24年度に執行することは、ほぼ不可能です。つまり次年度送りで平成25年度中に着手すれば認められる制度となっています。ですから、平成25年度中に着手できなければ平成24年度分は、返さなくてはなりません。したがって12月議会で体育館建設の契約案件が成立しないといけないと考えています。

### ⑪市民

今回の、「古くなったから建て替える」という体育館建て替え事業に限らず、今後20年後、30年後の市（公共施設）の状況を考えてまちづくりをしていくべきです。財政破綻が心配されます。

市

ファシリティマネジメント（施設の管理計画）を推進して、適切な手入れをしながら長く使い、施設の維持管理費、大規模修繕の費用等を平準化してまいります。これから、施設の統廃合や、複数の建物で重複している機能を1つに集約するなど、早め早めに取り組んでいきますので、財政破綻はしないと考えます。

### ⑫市民

今回の体育館建替え事業で、得られる一番のポイントは何かでしょうか。

市

一番は、建替えによって耐震上安全な施設を利用していただけるという安心です。現在の体育館では耐震上不安な点があるのですから、最大の避難所を整備して、この不安を解決するのは重要なことです。

### ⑬市民

マンションが建設されても、子どもたちが大きくなって、そこから出て行きゴーストタウン化してしまうことも心配です。公共施設を作る際の計画は、長期的視野をもって考えるべきです。

市

公団住宅という団地ができた頃は、同じような年齢の方が住まわれていたことから、施設が急に必要になったり、逆にいらなくなったり、極端でした。現在、流山市の場合は、おたかの森駅周辺から南流山駅周辺まで4つの土地区画整理事業地区があり、おたかの森駅

周辺の地区が一番進んでいます。おおたかの森駅周辺には未開発の土地もまだ多く、これからの発展がまだまだ期待されます。また、流山市では、1つ1つの開発において、同じような価格、同じようなタイプを作るのではなく、様々なバリエーションを用意するようお願いしています。これにより、住まわれる皆さんも、様々な年齢層、タイプに拡散してくると思います。

さらに、保育園や学童保育など、子育てしながら働き続けられる環境を整備し、今の子どもたちに引き続き、流山市を選んでもらえるようにしていきたいと思っています。東葛地区がホットスポット地域になっても、その中で流山市だけ人口が増えているように、計画的に事業を進めている効果がでています。

#### ⑭市民

体育館建て替えのために専門委員会のようなものができたと聞きました。この委員会はなぜ作られたのでしょうか。

市

議会の中に、特別委員会というものが立ち上がりました。これは、議会と市の間、認識の差がありました。予算は議決を頂いているので、今から計画がなくなってしまうということではありませんが、「丁寧な説明がされていない」「財政的に問題はないか」等、色々な問題がありましたので、議会に丁寧に説明をして、質疑をうけて、御理解いただくということです。特別委員会のメンバーは議会が選びます。各党派から人数に応じて選ばれています。

平成22年度からスタートした10か年の後期基本計画には総額（体育館建設費用）45億としており、議会の同意も得ています。今年度の国の財政支援も受けて、予算も大丈夫です。計画の大筋はご理解いただいていると考えています。

また、9月末日までに契約ができないとされますので、消費税法により、費用に3%の増税がされてしまいます。一方、社会資本整備総合交付金の制度による国からの交付金を有効に活用するために、杭の1本でも年度内3月までに打ちたいと思っていますので、12月に議案を提出し、同意を得ようと考えています。

#### ⑮市民

新体育館の図面を見ました。新体育館は大変なアフターケア（維持管理費用）が必要な建物になっているように感じます。

市

照明にLEDを使用する、空調もガスヒートポンプを使うなど、最新の技術を使うという考え方で工夫をしています。

#### ⑯市民

今回、体育館の建替えですが、老朽化している公民館は耐震工事だけで大丈夫なのでしょうか。

市

耐震工事を小中学校、保育園、公民館とやってきまして、今年は図書博物館の耐震工事を行います。最後の公共施設として体育館が残っていて、市民の安心安全を守っていくという考え方の中で、最大の防災拠点とするために、市民総合体育館を建替えて、完成させるということが必要だと考えました。

### 3 その他

市民

市債についてですが、今発表されているこの市債の中に、初石駅の橋上化の分は入っていますか。

市

入っていません。初石駅の橋上化は、柏市との調整、東武鉄道の調整が残っています。柏市から一定の負担金を得てから整備をしなければいけませんので、現在のところ、先程お示した市債の中に入っていません。

市民

市長は昨年2月21日にツイッターで、「議会での一般質問に際し『空港と市の往復バスについて、来年（平成25年）3月にやる予定』と公表しました」との発言があったが、これは現状どうなっているのでしょうか。

市

羽田空港と流山おおたかの森駅を結ぶバスについてですが、確かバス事業者から前向きに「いつ頃やります」という発言を受けたので、ツイッターをしました。しかし、昨年、「難しくなりました」という連絡がありました。今のところおおたかの森駅から空港まで行くバスの計画は立ち往生しています。

同時に成田空港へ行くバスも計画していましたが、現在、動きはありません、やるチャンスがあれば考えたいとの発言は受けていますので、市も実現に向けて動いてまいりたいと思います。

市民

「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」をもとに、多くの自治体で、市行政とバス事業者、利用者、の3社で協議会を設置しているところがあるが、流山はなぜまだ設置していないのか。

市

行政と民間バス事業者、あるいは学識経験者により、平成16年度と17年度に、つくばエクスプレス開通までにバス路線を整備をするため、（協議会を）立ち上げ、協議したことがあります。その後、市民からのご意見は常に入っていますが、今から新たに立ち上げてとは考えていません。ご意見として受け止めます。

市民（要望）

流山市の公共施設について、ホームページでグリーンバスはしっかりと情報提供されていますが、路線バスについてもしっかりと情報発信をしてください。

市民（要望）

流山本町活性化事業をしているが、いいアイデアだと思う。さらに、流鉄の活性化策として、流鉄とグリーンバス、流鉄と京成バスを繋ぐことで、運河駅や江戸川台駅周辺の人達の市役所への足も確保することができると思う。

市民（要望）

新川緑地に、ドブ川があるが、時々不法投棄がみられるので、どうしたら不法投棄がなくせるのか、考えていただきたい。

市民

初石駅前の土地を購入してもらったのはありがたいが、現在は物置場所にしかになっていない。草も生えてしまっている。運河駅関連が来年末までかかるとのことなので、駅舎の整備はまたそれから3年5年かかると思うが、それまで物置の状態にしてしまうのか、それとも市でお金を生み出すようなことを考えるのか、現在の進捗を伺います。

市

用地は、市の中で防災用の倉庫をおくとか、一時駐輪場とすること等を検討しています。まだ、具体的にいつからというのは決まっていますが、現在、検討している状況ではあります。今年度中には計画をまとめたいと思います。

## 1 小中併設校建設について

市民

学校に小学校、中学校のほかにたくさんの機能が詰め込まれていますが、それぞれの施設の建設費用はどれくらいでしょうか。ほかの小中学校と比べてお金がかかり過ぎていると思われるのですが、市内の学校との比較等、そのあたりの状況を聞かせてください。

市

事業費が大きくなった要因は、市街化区域の中に用地を確保したことによります。それぞれの金額については、現在のところ精査し、できるだけ削減しようとしているところです。小中学校は約76億5千万円、学校は地域に根差すということからも大切な施設と考える「地域交流スペース」は2億9千万円、防災拠点となる「防災備蓄倉庫」は8千3百万円、地域開放用の「図書館」に7千3百万円です。用地代を含め全てを合計しますと約134億円になります。これからさらに事業費を削減できるように取り組んでいきます。

市内の学校との比較については、4年前に建設した小山小以外は、30年以上前に建設した南流山小・中学校等になりますので、当時とは社会情勢や経済状況が異なる事、建設地が市街化区域か市街化調整区域かという点からも単純に比較はできません。しかし、他市で最近建設した学校と比較すると、事業費を併設校の小中学校の面積で按分しても、どこを基準とするかは難しいですが、順当であると考えています。

市民

以前タウンミーティングに参加したとき、八木南小学校を活用するのはどうかという意見を言いました。そのとき、市は、八木南小学校はセントラルパーク駅周辺の人口が増えたときの子どものために空けておくとおっしゃいました。ですが、セントラルパーク駅前の周辺には単身者向けのマンションばかりが建っているように思います。「ホームセンター」や「スーパーマーケット」、「病院」などの施設は来ますが、セントラルパーク駅に一戸建てが増えて、八木南小の小学生が増えるのはいつなのでしょう。

市

八木南小学校は、市内15の小学校の中では確かに小さな規模の小学校です。しかし、今後、八木南小の周辺で土地区画整理が進んでいく計画もありますので、今後八木南小の児童がどんどん減っていくという認識はありません。むしろ、本年度は昨年度に比べて1学級増の7学級となり、単学級だった学年が2学級に増えています。

前回のタウンミーティングでお話ししたのは、これから増えるというのではなく、既に現在増えているということで、今後もっと増える可能性があるということでした。「セントラルパーク駅前のマンションは単身者向けのマンションばかり」という点については、戸数を全て把握してはおりませんが、ファミリー向けの賃貸マンションが多いようです。流山市内では、単身者向けの賃貸マンションは、場所と周辺環境から、どちらかと言えば南流山、次におおたかの森に整備されています。

市民

小学校の保護者です。子育て世代、子どもたちのために優先的にお金を使っていただけでありますので、今後も積極的に支援していただけたらと思います。説明を聞いて、効率的に小中を運営し、教室に小中を柔軟に配置して活用するという効果はわかりました。しかし、教育内容そのもの、小中一貫教育を行うことによってどういう効果が得られるのかということに関して、お聞かせ下さい。

市

流山市は小中一貫教育に取り組んでいます。これは、全国的に行われていることで、そう目新しいことではないですが、私たちが小中一貫教育に着目したのは、中1ギャップの問題です。小学校のときは学級担任がすべての教科を担当しますが、中学校では教科担任となり、担任と顔を合わせるのは朝や帰りのホームルーム、自分の担当する教科となります。次々と教科担任が変わることにより、上手に人間関係を結べない子どももでてきます。時期的にも、自我の目覚めから子ども同士でもお互いに気持ちのやりとりができないということが出てきます。流山市は、全国、千葉県と比較すると、長期欠席の生徒は3分の1から4分の1程度と低いのですが、1年間で50名程度はいます。欠席までには至らなくても、そういったギャップを感じている子は他にもいるでしょう。そういった中1ギャップという問題があるのではないかと、これを何とかしたいということです。

2点目は、小中が隣接していることから、小中の教員が行き来をして、例えば小学校の算数の授業に中学校の数学の先生が来る、中学生に小学校の先生の姿が見えたり声をかけたりしてくれるという、連続性の教育効果です。

3点目は、教科担任の専門性を活かせることです。これは、新しい併設校でしかできない、ということではありません。現在も出前授業という名前で、中学校の教員が小学校で授業を行うという取り組みを、平成22年度から行っています。さらに平成9年度からもう15年になる取り組みである、小中の教員同士がお互いに授業を年2回程度見合う等の教員間の交流を行っています。そういったことを行いながら、子どもたちの小・中のスムーズな接続に取り組んでいます。

市民（提言）

小中一貫ということは、隣接している南流山小と南流山中を見ても、中学生が低学年の面倒を見るなどお互いに良い環境を持てるので、非常に良いと思います。団塊の世代では、小学校に入学するとなれば小学校が増え、中学校、高校、大学とそれぞれ入学すると増えるということがありました。それは、高度成長の時代なので良かったのですが、今は高度成長の時代ではありません。そういう意味では、国の補助金をいただけるというこのチャンスを逃すことはないと思いますので、是非事業の推進をお願いします。

市民

小山小学校の児童の急増と、全体の人口の増加から小中併設校が必要だという話でしたが、おたかの森の地域のことだけを考えたことなのではないでしょうか。学区はどうするのでしょうか。たくさんの生徒を呼ぶということから、学区を再編成するのでしょうか。

市

学区につきましては、既に学区審議会から答申をいただいております。新しい学区を再編成しました。当初は、小中学校を同じ学区にすることを想定しましたが、子どもたちの数が増えることから、既存の小中学校にできるだけ影響が少なくなるように配慮し、中学校区を若干大きくしました。それにより、小中合わせて最大で50学級の規模になると考えています。

今年度中に、最終的な学区を市民の皆さまにご案内する予定ですが、既に昨年12月に関係する4校の小学校で説明会を行いました。流山市は学校区制ですのでこれを堅持し、新しい併設校につきましても、併設校の学区を指定し、お子さんの通学する学校は、流山市教育委員会のほうからご案内させていただきます。

流山市は（従来から）小中一貫教育に取り組んでいますが、小中併設校は小中一貫校ではありません。流山市は学区制をとっていますので、新しい学校についても学区という範囲を決めます。他市の事例では、新しい学校が開校したことにより、既存の学校の人数が減ったということがあります。そういうことから学びながら、学区をきちんと決めて通学させることとしました。基本的に、小学校の通学距離はだいたい4km以内、中学校は6km以内が適切と文部科学省から示されています。それに限らず、事情があれば個々に対応いたしますが、学区は守っていきます。個々に相談すれば、4～6km以内であれば通学できるということではなく、学校を変えた方が良くと判断する様々な事例があります。行きたいから行けるということはありません。

## 2 市民総合体育館の建替えについて

### ⑰市民

新体育館における防災設備としての受水槽の蓄えは何人分でしょうか。

市

受水槽の容量は、15.4tです。これは実際入る水の量です。初動の3日間分の飲み水として換算して約1700人分です。また、防災備蓄倉庫が78平方メートルありますので、食糧やペットボトルの飲料水等を順次整備していく予定です。

### ⑱市民

太陽光発電設備は何ワットでしょうか。バッテリーの設置はどうなっていますか。

市

太陽光発電は、10キロワット程度を予定しています。一般住宅では3キロワット～3.5キロワットとされていますので、2.5から3倍くらいの出力と考えています。

バッテリーの設置については、まず、太陽光発電設備で得た電力を蓄えるという設備はありません。バッテリーは高価で財政的にも厳しいです。

実際被災した時には、非常用発電が72時間対応で整備されますので、様子を見ながら使っていくこととなります。その際、太陽光発電は、日中、携帯電話の充電等に使用することを考えています。

⑭市民

被災時における、新体育館の収容人数はどれくらいでしょうか。

市

地域防災計画の考え方で計算した場合ですが、1人あたり2平方メートルとすると、収容人数は最大で、5000人程度です。また、廊下やロビーを除いた居室の部分だけで考えますと1700人から2000人程度を収容できます。

⑯市民

新体育館で、100キロワットや200キロワットの太陽光発電設備の屋根貸しを取り入れたらどうでしょうか。

市

まず、屋根貸しについてですが、体育館というのは中に大きな空間があります。その屋根に太陽光発電設備を置くことで荷重が加わります。建物として、構造的に不利になりますので新たに検討しなければなりません。また、公園の中ということを考えますと、平地に置くのもなかなか難しくなります。

さらに、一部屋根が無い弓道場もありますし、2階へ向かう外部階段は屋根がありません。結果として、設置できるスペースが限られています。さらに、100キロワットから200キロワットとなると、整備コストの関係で、財政的に苦しいという状況でもあります。よって、あくまで体育館の建替え事業の中で、設置できる範囲が10キロワットということです。

⑰市民

新体育館は、避難場所の拠点となりますが、江戸川が氾濫したときのことを考えた場合、高さは大丈夫なのでしょうか。

市

流山市は、洪水ハザードマップというのを作って配布、ホームページに掲載もしています。その中で、江戸川の決壊も考えていますが、総合運動公園は問題がないところとなっています。高台に位置していますので、浸水しないと想定されています。

⑱市民

新体育館は、陸上競技場につくられます。現在の陸上競技場がなくなることで、その利用者が困るのではないのでしょうか。もし、陸上競技場をつくるのなら、もっと立派な観客席が整備されたものにしてほしいです。

市

体育館は、稼働率が98%です、しかし陸上競技場としての利用率は0.3%です。陸上競技場の中でも比較的に利用されているのは、サッカーの練習です。グラウンドを走るとするのは極めて利用者が少ない状況で、かつ公式記録を残すことができない設備です。

陸上競技場は、近くに県立の競技場がありますし、財政的なものを考えますと、あらためて観客席が立派なものを用意するという考えは今のところありません。

サッカーの利用者は、現在、スポーツフィールドがありますが、新川耕地の（新たな）物流センターの計画との関連も踏まえ、きちんとサッカーの練習ができる設備は考えていかなければいけないと思います。

### ②③ 市民

市の広報紙に、建設計画だけ掲載するのではなく、協議内容や進捗なども、わかりやすくのせてほしい。

市

広報紙に、流山市の計画をただ淡々と書いているだけというご指摘については、こちらでも反省しなければならないと考えています。議会との協議の内容も、きちんと掲載していかなければいけないと考えています。特別委員会は7月2日に第1回が開催されましたが、第2回は7月22日です。もしよろしければお越しいただきたいと思います。

### ②④ 市民（要望）

今の体育館は、震災の時、避難してきた他県の方々を受け入れることができませんでした。位置的に流山市の中央にあり、高台に位置しているのですから、今日はベテラン議員さんも来ていますので、市長は議会と上手く接点をとって、どんどん建設を進めてほしい。

### ②⑤ 市民（要望）

体育館の建替えはぜひ行ってほしい。避難所としても、高齢者はもとより、女性、赤ちゃんも利用しやすくなるような施設にしてほしい。

## 3 その他

市民

介護保険料が24年度から上がりました。以前のタウンミーティングで、介護保険料が上がってしまうので、4つある特養は黒字ではあるが、新たに立てさせませんという話を聞きました。しかし、現在は6個特養があります。今の高齢者の人数を考えると、新たに1つ建てても、またすぐ必要になってしまう状況です。

市

介護保険制度を成り立たせるには、まずは原則、在宅介護です。自宅での生活がどうしても難しくなれば、施設にお世話になるという順序が本来だと考えます。流山では、24時間対応型の看護と介護がセットになった施設を、今年スタートしました。まずは在宅介護という考え方が変わりませんが、どうしても在宅ではみられない方も増えていますので、介護保険事業計画を3年に1回策定する際に、計画の見直しをしながら進めています。

施設を1つ立てると、介護保険料が1人あたり数百円あがります。しかしそれでもこの負担をしてでも整備をするべきだという意見が多ければ、整備しなければならないと思います。今新たに2事業者が事業開始の意思表示をしているので、7月24日に選考会をし、千葉県に許認可の申請をしていくという状況です。

市民（要望）

南流山小の隣に15階建ての大きなマンションの建設計画があります。せっかく流山市にもまちづくり条例ができたのですから、これを活かしながらこれからのまちづくりを進めてほしい。

## 1 小中併設校建設について

市民

建築関係の者です。シーラカンスは実績のある設計者なので、素敵なお学校を作ってくれると思っています。クラスルーム教室はオープンスペースをもった、セミオープンタイプの学校となっています。実際に使用する先生の意識がプランに沿っていないと難しい設計ではないでしょうか。開校に向け、使い回しの問題などソフト面の話はどうなっていますか。

市

併設校には多目的教室を4教室設置しています。近年の学校建設のあり方を視察・研究した結果、実験室等の利用別の部屋ではなく、多目的に設置した方が、教科で自由に使えるよいと考えました。4つの多目的教室は、それぞれに区切れば8つの普通教室に転用するようになっています。児童・生徒数の増加が見込まれるため、多目的教室をこのようなタイプにして対応することとしています。

オープン教室タイプを採用した小山小学校でも、「オープン教室では児童が落ち着かないのではないか」「隣のクラスの音がうるさいのではないか」といった意見がありました。その点に配慮をしながら生活する、迷惑がかからないように自分で判断するということが、児童にとって良い教材になっていると思います。また、教職員が「児童を叱るときに隣に声が聞こえてしまう」等の戸惑った部分がありました。しかし、指導の際に冷静になる機会を得ることで、オープン教室はとても使いやすいという意見が聞かれました。

先進的にオープン教室を取り入れて30年以上経っている愛知県の小学校を見学した際、その卒業生3人にオープンタイプの効果面を質問しました。全員が『この小学校で学んだことで、自信をもって生きている』という話をしてくれました。オープンタイプの学校だから学力が伸びた、ということではなく、色々な学年の子や先生とコミュニケーションを持ち、それが世の中に出たときの自信につながっているのかもしれない、ということでした。同じように、流山から日本を引っ張っていけるような、力強い子どもを育てていきたいと思っています。

## 2 市民総合体育館の建替えについて

④市民

体育館の建て替え事業について、武道場（剣道）のことを理解している設計の専門家がいるのでしょうか。スペースや安全面で、現在の体育館にある剣道場は、壁面がガラス（窓）となっており、とても危険です。（試合等の際、対戦相手に向かって）思い切って打ち込むことができません。また、柔道場と剣道場は同じ部屋を規格上兼用できません。中学校の武道場のように畳を敷いてというような兼用では困ります。これは剣道や柔道の事を理解している方の設計とは思えません。新しい体育館については、実際の競技に役立つような体育館を設計してほしいです。今までの体育館の問題点を解消してもらいたいです。

市

計画にあたっては、剣道連盟や柔道連盟にもご意見を伺ったところです。既に設計が完了していますので、変更可能な部分があるかを含め検討します。

②⑥ 市民（要望）

体育館の建替え事業につきまして、賛成です。早急に進めていただきたいと思います。

現在の体育館は、結論から言いますと、現在、非常に使い勝手が悪いです。トイレの問題、空調の問題、更衣室もきわめて狭いです。市議会では反対の議員さんもいるようですが、私は賛成ですので是非進めていただきたい。

②⑦ 市民

事業計画から議会審議までの間が非常に長かったのではないですか。もっと早く着手できたのではないですか。特に国からの交付金は、事業が遅れるほど不利になるという状況です。違う場所に体育館を建設するという話を聞きましたが、何か特別な理由があったのですか。

市

まずは審査をする専門機関を立ち上げてほしいと、3月議会をお願いをし、そして6月議会から特別委員会を立ち上げることが決まりました。第1回は（議会会期中の）7月2日に開催され、第2回は7月22日10時から開催されます。

場所については、新川耕地に移して作るべきとの意見がありました。「今の運動公園を民間に売却して、その現金で体育館を作ることができるだろう、そうすれば市費が全然いらぬ」という意見でした。ただ、公園の中に整備するという事で国からの補助金が出ます。また公園を廃止する場合は、事前に現在の廃止する公園以上の公園を整備してから、今の総合運動公園を廃止する形になります。そうしますと現金は先に入ってきません。

もうひとつは、現在の予定地は土地区画整理事業を千葉県が施行しております。土地区画整理では、既に換地をして自分の土地の4割を出している方もいれば、これからの方もいらっしやいます。（この換地計画は現在の運動公園を現地に）運動公園として残すことを想定して換地を計画しています。これを今から廃止すると、すべての計算が変わり遅れている土地区画整理が更に遅延します。

新川耕地は現在の防災計画で、万が一の場合水没する可能性のある地域であり注意しなければなりません。このような地域に防災拠点となる運動公園を移すということは得策ではないと考えます。結論としては現状で行うことが、最も合理的であると考えています。

②⑧ 市民

新川耕地は市内でも一番標高の低い地域と聞いています。そのような地域に体育館を建てるというような提案はおかしいのではないのでしょうか。どのような根拠で提案するのか疑問です。そのような場所に建てるというのは市民が反対するのではないのでしょうか。

市

この関係については当初予算が可決しています。建替え場所も総合運動公園の陸上競技場として計画を進めています。

7月2日に第1回を開催、22日には第2回の特別委員会を開催するところですが、市長も副市長も出席し膝を交えて話し合いをしていきたいと考えています。

## ㊸ 市民

どうして特別委員会で審議することとなったのですか。9月までに決めないと財政を圧迫するという話だが、特別委員会だけに決定を委ねていいのでしょうか。体育館ができないということにならないよう、議会に対して毅然とした態度で臨んでいただきたいと思います。

市

9月までに入札して契約できなければ、消費税（8パーセント適用となる時期）に影響が出ることについて、説明しました。また、交付金を有効に活用するために、12月議会に契約議案として承認いただけるよう、丁寧に説明してまいります。

## 3 その他

市民

放射能の問題についてです。現在、市として除染作業はどのような予定で進めているのですか。

市

すでに去年の夏には、小中学校、幼稚園、保育所、子供たちが生活する公共施設はすべて終了しています。3月末に公園も終了しています。民有地についても応募のあった対象については3月末に終わっています。

今年度残っているのは、市民の森です。現在、測定を行っていて、1mの高さで0.23マイクロシーベルトを超えると除染をします。民有地については、転入者に対して希望をとっていくという状況です。

市民

常磐線の南と、北では（インフラ整備に）格差があるように思います。トイレを作るにも、ここには下水道が通っていません。旧水戸街道から南には全く入っていません。早急にインフラを整備していただきたい。納税者が公平だとはありえないと思います。

市

つくばエクスプレスができるまで、この地域は一番東京に行きやすい地域でした。昭和30年代、40年代は、この辺に投資してきました。そして、今はTX方面に投資しているという状況です。

下水道の整備ですが平成25年度においては上水道が常磐線の下を超える工事、汚水管が下を超える幹水という工事が進んでいます。これが終われば、26年度以降、宅内から汚水を取りこめる枝管の工事も可能になります。

市民

木の図書館を(常磐線)線路の南側に作るというのは考えなかったのでしょうか。

市

もともと、東部公民館の中の図書室を何とか明るくできないかと検討を始めた経緯がありますので、東部公民館の近くで、松ヶ丘、名都借、向小金の地域の方が来られるようにと検討した結果、今の場所となりました。

市民

跨線橋の歩行者導線、自転車導線強化は大賛成だが、自動車が通るのを考えて、香取神社の交差点の方までの交通計画を考えないと、渋滞は発生してしまうと思います。

市

たけのこルームから香取神社前交差点まで、今年度から用地取得をはじめまして、並行して跨線橋を整備しようと考えています。

市民(要望)

香取神社の交差点は県道との交差点だとわかっているが、県とどういう協議をしてきたのかを、ちゃんと地域住民に説明することが重要だと思います。

市民

東小前の通学路の拡幅について、計画はどのようになっていますか。地権者と(協議を)慎重に進めていただきたい。

市

東小前の通学路の整備は今年度から開始します。区分によりませんが、最長平成30年度までの整備と考えていますので、慎重にすすめていきたいと考えています。

